



アジア太平洋の事例 ：日本

立教大学ESD研究センター長
阿部 治

アウトライン

- 推進要因：政策
 - 環境省
 - 文科省
- 傾向と優良事例
 - カリキュラムCurriculum
 - 運営(キャンパス)：Operation
 - 外部(地域)連携：Outreach
 - ネットワーク・センター：Networks & Centres
- 立教の取り組み
- まとめ：大学における環境教育 / ESDの課題


推進要因

DESの制度化 省庁の取り組みが活発化

- 環境省の主な施策
 - アジア環境人材育成イニシアティブ(ELIAS) (2008～)
 - (関連事業)国連ESDの十年(DES)促進事業(2006～)
 - (UNUを通して)：1億5000万円(H20年度)
 - ProSPER.NET(後述)
 - 国連大学RCE(2005～)・・・宮城教育大学、岡山大学など
- 文科省の主な施策
 - 現代GP「持続可能な社会につながる環境教育の推進」(2005～)
 - ユネスコ青年交流信託基金事業「大学生交流プログラム」
 - サステナビリティ学 研究連携機構(2005～)

環境省: ELIAS(1)

人材育成のターゲット




環境省 アジア環境人材育成イニシアティブ / パンフレットより抜粋

環境省: ELIAS(2)

- 7500万円(H20年度)
- 各分野における専門家・リーダーの育成
- 官民連携環境人材育成コンソーシアムの設立(インターン/企業の講師派遣/一般学生対象の環境教育プログラムの開発・・・)
- アジア規模で活躍する環境リーダー育成支援(ProSPER.Netとの連携)
- 学生団体の環境活動を通じた人づくりの活性化

環境省: ELIAS(3)

- (1) 茨城大学
 - 「アジアのサステナビリティを担う環境人材育成のための大学院教育プログラム - 俯瞰力と人と環境を結ぶ実践力を備えた地域リーダーの育成」
- (2) 東京大学
 - 「日本・アジアSATOYAMA教育イニシアティブ」
- (3) 慶應義塾大学(湘南藤沢キャンパス)
 - 「低炭素社会デザインコース」(仮称)創設事業
- (4) 信州大学
 - 「グリーンMOT(技術経営)教育プログラムの推進」
- (5) 中部大学
 - 「環境と開発のためのリーダーシップ: NGOと大学による参加型カリキュラム開発ネットワークの形成と実施」
- (6) 高知大学
 - 「環境人材育成のための社会協働教育プログラムの開発」

環境省: DESD促進事業

- DESD促進事業・・・ESDを推進する様々な地域実践支援
 - 高等教育を直接の対象としたものではない
- 「地域づくり」の中での高等教育
 - 宮城教育大学・・・仙台広域圏「海、山、まちを繋ぐ、広域連携による持続可能な地域づくり」
 - 東京海洋大学・・・東京湾を面で結ぶ沿岸地域「江戸前の海、学びの環づくり」
- DESD促進事業: 2300万円(H20年度)

文科省: 現代GP

- 現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)のテーマの一つ
 - 岩手大学(後述)、愛媛大学(後述)など
 - 平成19年度までの公募テーマ「持続可能な社会につながる環境教育の推進」で選定された取組を継続的に支援。
 - 平成20年度予算額: 現代GP選定分総額 3,849百万円の内数

文科省: サステナビリティ学研究連携機構

サステナビリティ学研究連携機構(IR3S)

- サステナビリティ「研究」
 - 主要大学: 東京大学・京都大学・大阪大学・北海道大学・茨城大学
 - 協力大学: 東洋大学・国立環境研究所・東北大学・千葉大学・早稲田大学・立命館大学

文科省: ユネスコ青年交流信託基金事業「大学生交流プログラム」

- 2008年ユネスコ青年交流信託基金事業「大学生交流プログラム」(受入れ・派遣)
- 主にアジア太平洋地域の大学生との交流をとおし、ESD等、ユネスコの重点事業分野に沿った、特定のテーマにおける専門性の向上及び相互理解を促進
- 原則として14日以上30日以内
- ワークショップ・セミナー・シンポジウム等を中心とした研修・交流

. Curriculum

- 岩手大学『持続可能な社会のための教養教育の再構築』
 1. 養成する人材像
 - 複合的な人類的諸課題を生涯にわたって自らの課題と意識し、社会・地域・家庭の様々な場で、具体的な問題の解決に取り組む「21世紀型市民」
 2. すべての教養教育にESDを織り込む
 - 全体が目指す方向を示す(持続可能な未来)
 - 教養教育の体系化ではなくネットワーク化
 - 現実社会とのつながりを明確にする
 - 価値観を中心に置き、すべての科目に織り込む
(玉、2007)

. Outreach

- 愛媛大学『瀬戸内の山～里～海～人がつながる環境教育』プロジェクト
 - 共通教育によるESD環境指導者の育成
 - 自然・社会文化・経済の視点から、地域に出むいて課題を発見し(課題発見能力)、グローバルな視点から問題解決の知識と技能を身につけ(問題解決能力)、地域の様々な意志決定レベルを通じて問題解決を働きかける(社会参画意識)ことのできる指導者の育成

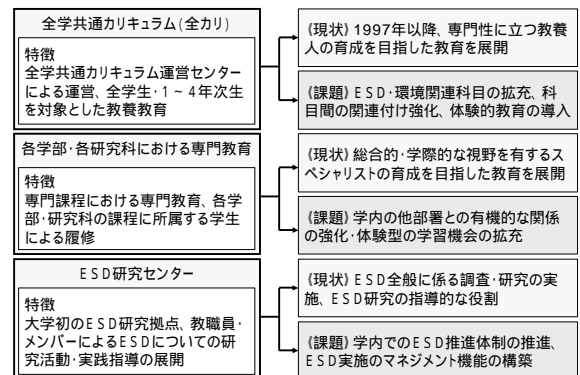
. Operation

- キャンパスのグリーン化
- ISO14000等
 - 私立大学環境保全協議会(1985年～)
 - 2006年度 会員数…154(学校)、44(企業)
- 学生が主体となる事例
 - 千葉商科大学
 - 東京農業大学、他

. Network/Centres

- HESD
- ProSPER.Net
 - RCE
 - ELIAS
- 立教大学ESD研究センター(後述)

立教大学のESD



大学における環境教育/ESDの課題

- 持続可能性をベースとした学問の再構成
 - 総合科学(環境、経済、社会、文化)の再考/ 開発性科学から持続性科学へ/ カリキュラム再構成/ 社会との連携
- 持続可能な社会への変革を教育・研究・社会連携
 - 行動変容を促す学び/ 参加型学習の推進/ MDGsなどグローバルコンテキストの視点
- ローカルコンテキストを意識した教育・研究・社会連携
 - 持続可能な地域づくりの視点
- 環境教育/ESD指導者の養成
 - コーディネーター、ファシリテーター、教員養成
- CRとしての環境教育/ESD
- カリキュラム/サステナブル・キャンパス/社会(地域)連携